

大型トラックの排気ガス再循環装置のリコールについて

平成 24年12月6日

リコール届出番号3067

平成24年12月6日、UDトラックス株式会社は下記のリコールを国土交通大臣に届け出しました。

対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- 大型トラックにおいて、エンジンのEGR差圧センサーの配線部の内部構造が不適切なため、車両振動などを受けて、保護チューブ内で配線同士が接触し、被覆が摩耗するものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、被覆が剥がれ、最悪の場合、センサーの配線が断線または短絡することで、エンジン警告灯が点灯するとともにEGRが作動しなくなるため、排出ガス値が基準値を超えるおそれがあります。EGR（排気ガス再循環装置）：排気ガスを燃焼室に循環させることにより、排気ガス温度の上昇を抑え、窒素酸化物の生成を抑制するものです

2. 改善の内容

- 全車両、EGR差圧センサーを対策品と交換します。

3. 対象車両

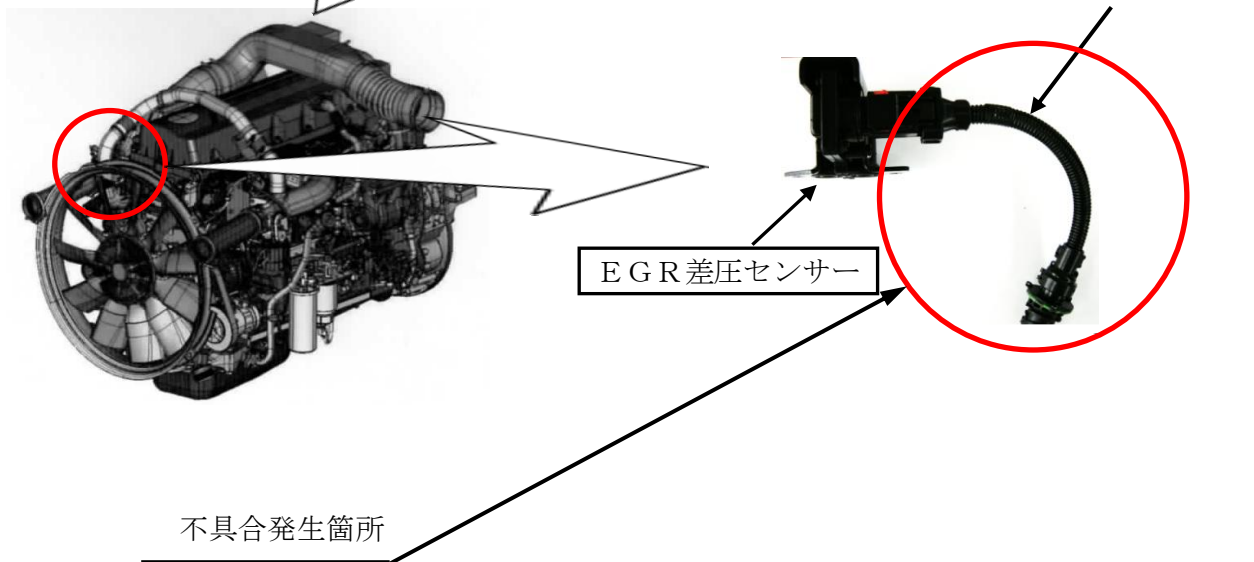
- UDトラックス株式会社が製作している大型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

型式	通称名	対象車の含まれる車台番号の範囲 及び製作期間	対象台数	
LDG-CW5YL	クオン	CW5YL-00154～CW5YL-00275 平成22年 3月 5日～平成23年 5月27日	20	
LKG-GK6XAB LKG-GK6XAD LKG-GK6XAE QKG-GK6XAB		GK6XA-00107～GK6XA-00527 平成22年 6月23日～平成23年 7月20日	342	
計5型式		計1車種	製作期間の全体の範囲 平成22年 3月5日～平成23年 7月20日	合計362台

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

改善箇所説明図



大型トラックにおいて、エンジンのEGR 差圧センサーの配線部の内部構造が不適切なため、車両振動などを受けて、保護チューブ内で配線同士が接触し、被覆が摩耗するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、被覆が剥がれ、最悪の場合、センサーの配線が断線または短絡することで、エンジン警告灯が点灯するとともにEGR が作動しなくなるため、排出ガス値が基準値を超えるおそれがある。
EGR（排気ガス再循環装置）：排気ガスを燃焼室に循環させることにより、排気ガス温度の上昇を抑え、窒素酸化物の生成を抑制するもの

改善の内容

全車両、EGR 差圧センサーを対策品と交換する。

注： 内は交換部品を示す。

識別：EGRセンサー側のコネクタ部に、白色ペイントを塗布する。